

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用者編】(第2回)

I 調査の概要

調査対象期間(2013年7月～2013年10月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果をとりまとめたものである。回答数:1000件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「固定期間選択型」の利用割合は33.4%に増加、「変動型」は41.3%に減少

- ・「全期間固定型」の利用割合は、25.3%(前回調査[2013年3月～2013年6月:25.4%])と横這い
- ・「固定期間選択型」は、33.4%(前回調査:31.1%)と増加した。
- ・一方、「変動型」は41.3%(前回調査:43.5%)と減少している。<p.2>

2 今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は「現状よりも上昇する」が減少

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)については、「現状よりも上昇する」が42.5%(前回調査:45.1%)と減少し、「ほとんど変わらない」は43.1%(前回調査:40.4%)と増加している。<p.9>

3 住宅ローンを選んだ決め手は、圧倒的に「金利が低いこと」

- ・住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」とする回答が65.7%(前回調査:66.4%)と圧倒的に多い。
- ・「将来の返済額を確定しておきたかったから」は減少し、その順位は前回調査の3位から今回調査では4位へと低下した。<p.14>